



関節リウマチの 内科的療法 薬物療法に踏み込んで



だな たけし
産業医 田名 毅
(首里城下町クリニック)

産業医だよりでは、毎月当院で行われている地域むけ医療講演会の内容を抜粋してお伝えしています。

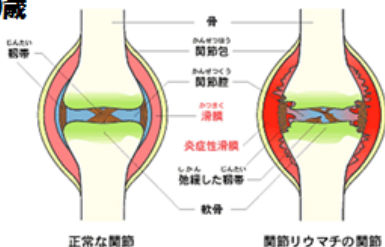
5月の地域むけ医療講演会は、当院の比嘉啓医師に、「関節リウマチの内科的治療～薬物療法に踏み込んで～」と題して講演してもらいました。リウマチは女性に多く、手の指が変形する難病として知られていますが、この10年の間で医療の進歩が著しく新たに診断された患者さんでは変形する人がほとんどいなくなった程です。今回はこのような新たな内科的治療法全般について講演してもらいました。以下に要約をご紹介します。

1. 関節リウマチとは

概念：多発性関節炎を主徴とする原因不明の慢性炎症性疾患
病変の主座は関節滑膜であるが、進行すれば軟骨・骨を侵し、関節組織の破壊や変形へと至る

疫学：人口比0.3～0.8%（県内では1万人前後か？）
女性に好発し、男女比は1：3～5
好発年齢は30～50歳

症状：朝のこわばり、
関節痛、関節炎、
関節変形、
関節外症状：
発熱、肺病変、
眼病変
皮膚病変など

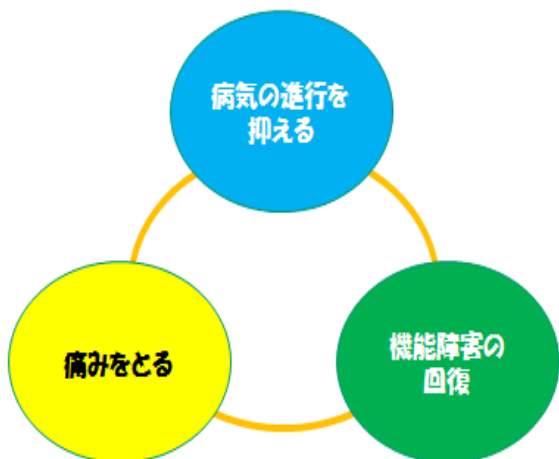


正常な関節

関節リウマチの関節

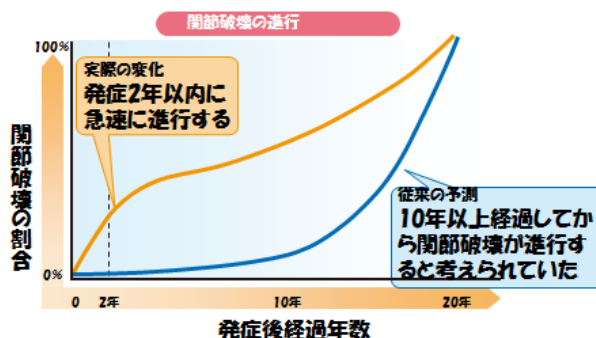
経過をみると、早期診断早期治療が重要であることがわかります。リウマチは自己免疫性疾患であり関節が悪くなるのが中心ですが、その他の内臓（肺など）が悪くなることもあることも知っておいて下さい。

2. 関節リウマチの治療の基本的アプローチ



関節リウマチの経過

- 関節破壊は従来考えられていた以上に進行が早いことがわかってきました。そのため現在は早期からの積極的な治療が推奨されています。



関節リウマチにおける関節破壊

50歳、罹病期間1.5年 66歳、罹病期間12.5年 45歳、罹病期間21年



関節破壊スコア:23

関節破壊スコア:96

関節破壊スコア:123

関節リウマチの治療は、患者さんの生活の質を保つためにも痛みをとること、そして病気の進行を抑え変形しないようにすることが重要であることが分かります。痛みをとるためには従来から使用されている痛み止めの他に、ステロイド（副腎皮質ホルモン）がこれまでよく使用されてきました。痛みをとるにはいい薬なのですが、長期に使用すると血圧、血糖の上昇、感染症の誘発、胃・十二指腸潰瘍、骨粗鬆症など様々な副作用を起こします。そのため現在は次のような薬剤の使用方法が勧められてきています。

3. ステロイドを減らすための治療方法

(免疫システムの異常に働きかけ炎症を鎮める薬)

① 従来型 (いわゆる内服) 抗リウマチ薬 csDMARDs

免疫の異常を調整し、関節の炎症をおさえ、痛みや腫れを軽減します。

② 生物学的 (いわゆる注射) 抗リウマチ薬 (Biologic DMARDs)

炎症に関わる特定の原因物質の働きを抑え、痛みや腫れなどの炎症を鎮めます。
現在使用されているものに、TNF α 阻害薬、IL6受容体拮抗薬、T細胞選択的共刺激調整薬があります。

③ 分子標的型抗リウマチ薬

炎症に関わる複数の原因物質の働きを抑え、痛みや腫れなどの炎症を鎮めます。

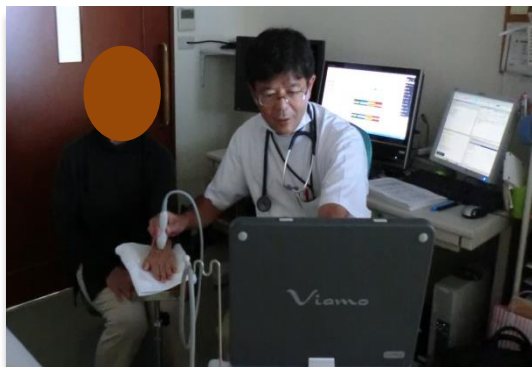
①で示した従来型の治療 (抗リウマチ薬) の中で最もよく使用されるのがメトトレキサートです。抗がん剤として開発された薬ですが、これを少量使用することによりリウマチが良くなることがわかり、ここ15年ほどリウマチ治療の中心になっています。その他にもアザルフィジン、リマチル、プログラフ、タクロリムス、ケアラムなどあります (詳細の説明は割愛します)。

上記を使用しても病気を抑えられないときに使用するのが、②の生物学的製剤です。

ここ10年ほどで7種類の薬が新しく使われるようになっていきます。非常に高価な薬 (保険で3割負担でも月に3万円以上かかる) ですが、勢いを止めることができなかつたリウマチの進行を寛解 (痛み、変形なく過ごせる状態) にすることができる治療薬です。比嘉先生の患者さんの中で10名の方が一旦寛解し、生物学的製剤を中止したそうです。半数の患者さんはそのまま寛解状態を維持しているものの、半数の方は再燃 (再度痛みが出現し悪化すること) したようです。新規治療薬 JAK 阻害薬 (ゼルヤンツ) が③の分子標的型抗リウマチ薬です。使用方法も含め、今後どのように使われていくかが、リウマチ専門医の当面の課題のようです。

4. 関節評価と関節エコー

比嘉先生は関節エコーなど最新の検査は勿論、指関節の痛みの変化の詳細なチェック、患者さんの痛みの表情を模式化したフェイススケールなどを用いて、患者さん一人ひとりの状況を看護師、検査技師とともに把握するよう努めています。



DAS28: 関節評価のポイント

触診のポイント



近位指関節 (PIP)
($\times 10$ カ所)



中手指関節 (MCP)
($\times 10$ カ所)



手関節 ($\times 2$ カ所)



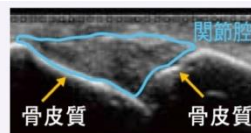
肘関節 ($\times 2$ カ所)



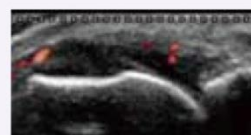
肩関節 ($\times 2$ カ所)



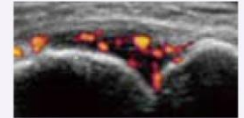
膝関節 ($\times 2$ カ所)



Grade 0 absence
血流シグナルなし



Grade 1 Mild
血流シグナルが少量



Grade 2 Moderate
関節腔内の血流シグナルが
50%以下



Grade 3 Marked
関節腔内の血流シグナルが
50%以上を占める

免疫抑制による治療水準が上がったからこそ、感染症をはじめとする合併症、副作用への対策が重要となり、先生がいかに患者さんのことを考え治療に向き合っているかがわかる講演会でした。



167回 首里城下町クリニック 『地域むけ医療講演会』

日時: **平成 29年 6月 14日(水) 19:00~20:30**

テーマ: **認知症と運転免許の関係を考える**

国立病院機構 沖縄病院

神経内科部長

渡嘉敷 崇

その他クリニックに関しては HP をご覧ください <http://www.shuri-jc.jp>

首里城下町クリニック 『働く人健康支援室』 は、



産業医・内科医
高血圧が専門です
田名 毅

あなたの **相談窓口** です！



保健師・産業カウンセラー
認定産業看護師 **田名彩子**

暫く
産休・育児休暇に
入ります！



保健師・産業カウンセラー
キャリアカウンセラー
與儀雅代



看護師・衛生管理者
糖尿病療養指導士 **新垣朋子**



認定産業看護師
山城愛子



相談窓口

産業医は、あなたの職場とそこで働く人々の心とからだの健康を支援します。

★訪問日を設けている事業所の職員は、お気軽に訪問日をご活用下さい。

★クリニック内の『働く人健康支援室』では健康相談を行っています。
事前にお電話の上、いらしてください。

★クリニック内で産業医との面談は診療の合間となりますが可能です。
事前にお電話くださり働く人健康支援室で“産業医との面談”とお声掛けください。診察や検査の必要がない限りは無料です。

★その他、電話やメール相談も随時行っています。

連絡先

首里城下町クリニック 働く人健康支援室
098-885-5000

携帯 080-4312-9200 (田名彩子)

メール saiko@discuit.ocn.ne.jp

プライバシーは守ります。

お気軽にご利用下さい！